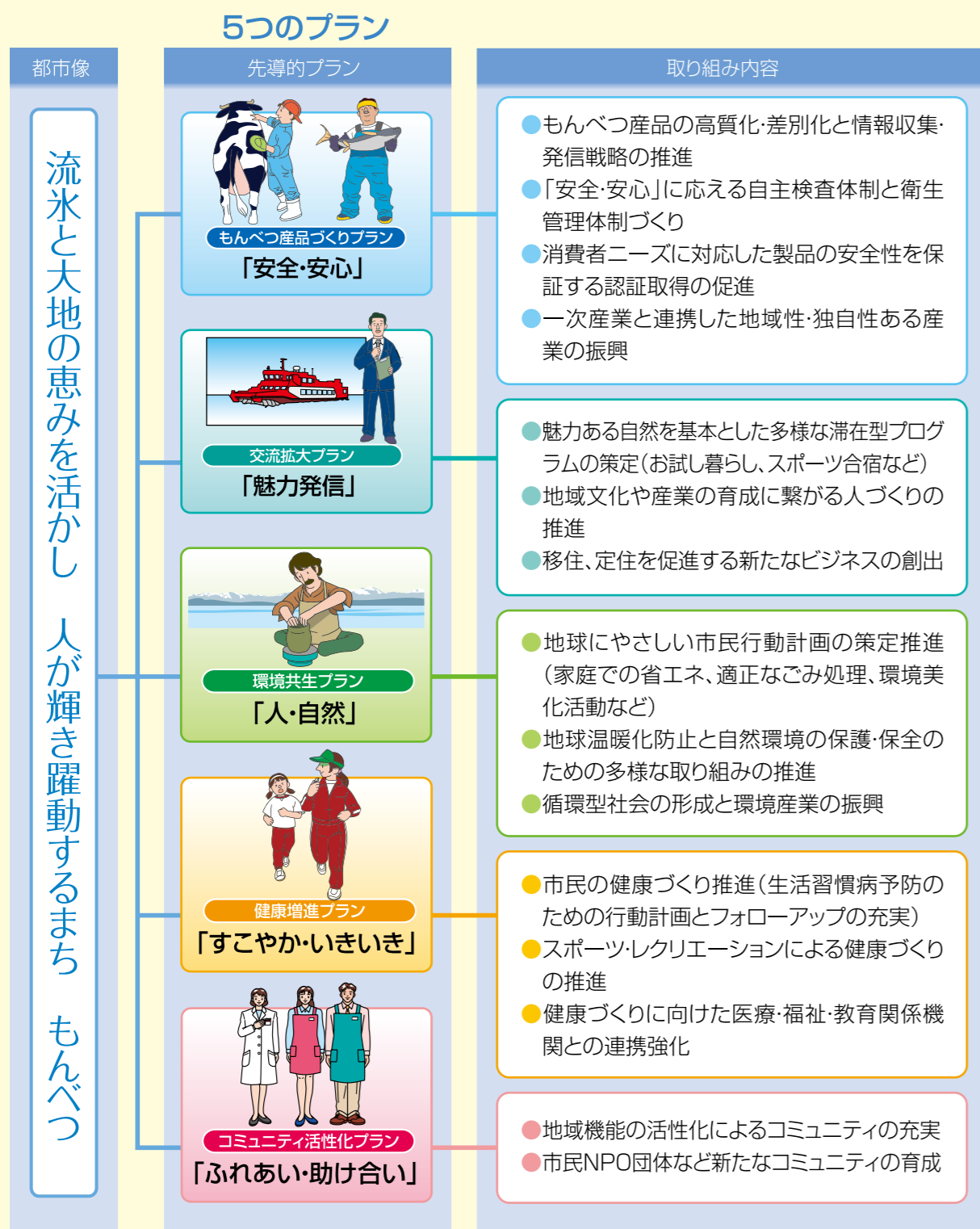


## 先導的プランの展開

このプランは、本市の都市像である「流氷と大地の恵みを活かし 人が輝き躍動するまち もんべつ」を実現するための先導的な役割を担い、市民の理解と協力を求めながら「選択と集中」により、それぞれの分野施策を有機的・横断的に連携させ、展開することにより、総合的な効果を発揮するものです。



## 土地利用の基本構想

土地は、良好な市民生活や生産活動を維持するための基盤であり、土地利用については、将来にわたって適正かつ計画的な利用を推進する必要があります。

このため、本市の有する自然的、社会的、経済的、文化的条件や発展性をふまえ、活力ある産業の振興や快適な生活環境の確保、豊かな自然環境の保全などが適切に図られるよう、総合的かつ計画的な土地利用に努めます。

### ① 都市地域

都市地域については、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的として策定された「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」により、自然や産業と調和した土地利用に努めます。

### ② 農業地域

農業地域については、農業生産向上のため生産基盤の整備や農地の集約化など、効率的な土地利用に努めます。

### ③ 森林地域

森林地域については、森林の経済的・公益的機能向上のため、長期的な視点から森林の保全と活用に努めます。

### ④ 自然保全地域

自然保全地域については、生態系の維持に配慮するなど、自然環境の適切な保全に努めます。

## 基本構想の推進

### ● 構想の推進に向けて

これからの行政には、限られた財源のなかで、多様化・高度化する市民ニーズに対応した幅広い行政サービスの提供が期待されており、これまで以上に効率的かつ効果的な運営が求められています。

事業推進・サービス提供に際しては、民間委託・PFIの導入をはじめ、道州制などの動きを視野に入れた近隣市町村との連携強化のほか、成果主義・能力主義の導入による組織・人事のあり方について見直しを図ります。

また、この基本構想を推進するため、基本計画を策定し「計画(Plan)・執行(Do)・評価(Check)・改善(Action)」というPDCAマネジメントサイクルの導入と「3カ年ローリング」の実践により、進行管理システムの構築・充実を目指します。

さらに、市民と行政との「共創と協働」が都市像の実現に不可欠となることから、それぞれの役割を明確にし、構想の推進に向けて取り組みます。

### ● 国・道との連携

地方分権の趣旨を活かし、本市の主体性・自立性を基本に国・道の各種計画との整合性を図りながら、連携体制の充実に努め、効果的に施策を推進します。

また、国・道に対し、役割分担と責任範囲を明確にし、国・道の責任において行う事業については、迅速かつ適切な対応を要請します。

### ■ PDCAマネジメントサイクル

